

ニュースレター 2月

2021. 2. 1発行



今月は玄関でキレイになりたい！ウイルス対策できるグリーンゾーンの間取りについてお届けします。

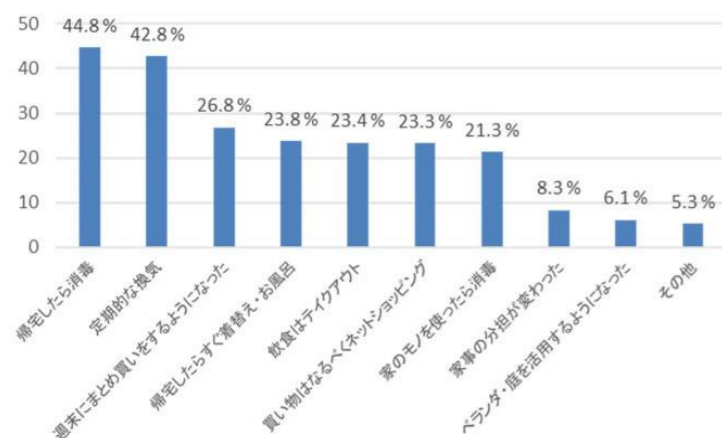


HPのお問合せはこちらから

コロナ禍により、家族の中での習慣や約束ごと「ファミリールーティン」がかなり変化しているようです。皆さんは家に帰ったら一番初めに何をしますか？今回は住まいのウイルス対策をご紹介します。

1、屋内へのウイルスの持ち込み歩数は13.3歩

コロナ禍で増えた新しい家族の習慣(ファミリールーティン)として、行っていることを全てお選びください。(n=800、複数回答可)



コロナによって毎日の暮らし方が変わったという人も多いのでは？

家族の中での習慣・約束を「ファミリールーティン」と名付け、コロナの前後でどのように変化したかを調査したところ、ウイルス対策が生活の一部になりかなり苦労をしていることが分かりました。

***左記はコロナ禍で生まれたファミリールーティンウイルス対策がツートップ**

調査によれば、コロナ禍で増えた新しいファミリールーティンで1番多かったのが「帰宅したら消毒」そして「定期的な換気」と続いています。

興味深いのが、「コロナ禍で家族に怒られたことは？」という質問に対して、男女で回答に若干差があったこと。

「オンライン飲み会の頻度が多い」、「帰宅してすぐに手洗いをしなかったこと」などの回答がある中、男性は女性に比べて「家でダラダラしていることを怒られた」、「使用済みのマスクを置きっぱなしにしていた」などの回答が目立ち女性は男性に見られない「ウイルス対策に神経質すぎると怒られた」という回答が複数見受けられました。

家族間では女性の方がウイルス対策に積極的で、非協力的な男性に怒ったり、逆にやりすぎと怒られたりする風景があるようです。

そんな中、住まいの新たな課題となったのが、家の中へのウイルスの持ち込みに関すること。同調査によると、「**住まいで玄関から洗面所までの距離**」の平均歩数は**13.3歩**でした。つまりこの歩数分だけ、家の中にウイルスを持ち込んでいくということになります。

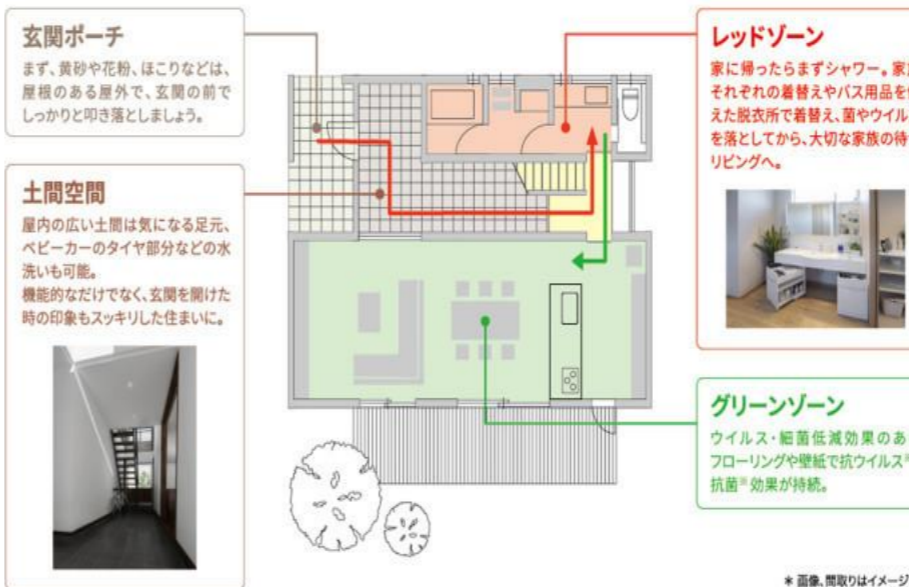
そこで最近注目されているのが、ウイルス対策がしやすい工夫がある住まいです。

2、レッドゾーンとグリーンゾーンを分けた間取り



住まいのウイルス対策で大切なことは、まず外から内にウイルスを持ち込まないようにすること。

そこで生まれたのが、病院の中を汚染区域と清潔区域に分けるように、家の間取りも「レッドゾーン」と「グリーンゾーン」に分けるという間取りです。



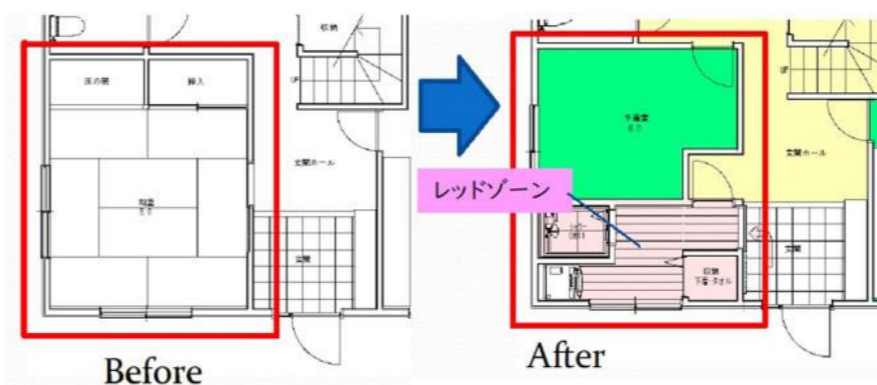
*画像、間取りはイメージです。

こちらは、玄関から入って、手洗いやうがいとお風呂に入るまでを「レッドゾーン」とし、そこでウイルスを落としてから「グリーンゾーン」のリビングや各個室の入るよう計画された家の間取りです。

これなら、玄関でクロックコートを脱いで、すぐに手洗いや入浴ができるので、家の中までウイルスを持ち込まないで済みますよね。

このような家の間取りは、花粉症対策にも有効です。

■リフォームする手も



3、玄関でウイルスをストップしたい！



玄関からウイルスを入れたくないと考えている人は多く、「帰宅後、すぐに手洗いができるセカンド洗面」や「非接触で手洗いができるタッチレス水栓」のニーズが高まり、感染防止の観点から、尿の飛散防止を防ぎたいという要望もあるとのこと。

泡で飛沫を抑える便器や玄関でコンパクト手洗い器など感染対策製品があります。

住まいのウイルス対策の工夫でより快適で安心な毎日をお送りください。

コンパクト手洗い器設置例

株式会社 渡辺組

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174

リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988

E-mail info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

土木建築 リフォーム

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。